



あいち健康プラザ 健康科学館

あいち健康プラザは愛知県が設置した、「あいち健康の森」のメイン施設である。健康づくりの総合拠点であり「健康科学館」、「健康開発館」、「健康宿泊館」、「健康情報館」からなる複合施設。健康科学館は「からだの科学」、「健康の科学」、「脳の科学」の3室、および映像ホールなどからなり、からだのしくみや健康の大切さを、からだの拡大模型や体験型の展示、パソコンゲームなどを通して、楽しみながら見て、触わって、理解することができる。

また、常設展示事業の他にも、健康教室や講演会などの教育普及事業を通して、健康づくりの動機付けを行っている。

目 次

●平成10年度東海3県博物館協会交流研修会報告	2
●平成10年度愛知県博物館等職員研修会報告	2
●平成10年度部門別研修会報告	2
●新規加盟館の紹介	5

平成10年度

東海3県博物館協会交流研修会報告

第23回の交流研修会が10月28(木)～29(木)日の両日伊勢市の神宮会館で開催され、参加者80名(愛知県19名、岐阜県16名、三重県45名)の出席がありました。

以下、研修会の概要を報告いたします。

第1日目

1. 開会挨拶

中村 幸昭氏(鳥羽水族館 館長)

2. 来賓挨拶

向井 孝治氏(伊勢市教育委員会 教育長)

3. 講演

記念講演

テーマ「博物館考～内から外から」

渥美 保氏(四日市市博物館 館長)

テーマ「リニューアル後の博物館の動向」

①近藤 洋二氏(豊橋市自然博物館 事務長)

②岩田 正雄氏(岐阜県博物館 課長補佐)

③矢野 憲一氏(神宮徴古館農業館 館長)

第2日目

見学会 ・神宮徴古館農業館

・神宮美術館

・皇學館大学附属神道博物館

愛知県博物館等職員研修会報告

平成10年度の職員研修会を9月9日(木)～10日(木)の両日半田市の勤労福祉会館で開催

テーマ：科学館におけるインターネット利用

(参加者49名)

平成10年度 部門別研修会報告

① 歴史民俗部門

今年度の愛知県博物館協会歴史民俗部門研修会は、「博物館・美術館ワークショップの今」と題して、平成11年3月4日、名古屋市美術館講堂を会場にして行われた。

一口に「ワークショップ」といってもその言葉の使われ方や意味の解釈は人それぞれ異なるという認識のもとに、今回はあえて歴史民俗部門の館に限らず、美術館・科学館・児童館から

も発表者を迎えた。

そのせいか、研修会当日は約60人の参加者が集まり、それぞれの所属する館種も多岐にわたったのは、「ワークショップ」に対する関心の広がりを示すのかもしれない。



研修会では、最初に名古屋市博物館の犬塚康博氏による、博物館・美術館における「ワークショップ」の位置付けとその歴史の概説後、各論として一人ずつ発表をする形式をとった。

前半の発表者として、名古屋市美術館の伊藤優子氏から、次々と新しい試みを実践して元気のいい美術館のワークショップの話を、また、名古屋市科学館の山田吉孝氏からはワークショップのご本家ともいえる立場から様々な実践例を、そして愛知県児童総合センターの田嶋茂典氏からは子供を対象とした活動とその理念について語っていただいた。

このように異なる分野を専門とする方たちの発表からは、そのまますぐに自館の活動に取りこむことは難しいながらも、それぞれの活動理念や方法論からなにかしら自分たちの今後の活動に反映させることができるものを受け取ることができた。

後半は歴史系博物館のワークショップとして、一宮市博物館の久保禎子氏より展覧会と講座活動の中から浮かび上がる問題点と未来像を、安城市歴史博物館の岡安雅彦氏からは土器づくりの実践活動のノウハウを、徳川美術館の加藤啓子氏には夏休み子供企画の成果と問題点についてそれぞれ発表があった。

これらの内容については、すでに類似する企画を経験している参加者にとっては、身近な課

題として受け取ることができたのではないだろうか。

発表終了後、発表者を前にして全体の質疑応答・フリートークの時間をもったが、それぞれの発表内容が多岐多彩にわたったことと、運営側が、事前に十分な問題点を整理し、提示しきれなかったという不備もあり、あまり活発な討論には到らず、いささか消化不良気味に終わった点が反省としてあげられる。



しかしながら、現時点での県内諸博物館におけるワークショップの姿と課題をこの場で提示したことは、今後各館それぞれに、または協会加盟館同士で連携して実践されるであろうワークショップ活動のためにも大きな一歩であったと考えたい。

(尾西市歴史民俗資料館 小林弘昌)

② 自然科学部門 参加レポート

期日：平成11年2月9日～10日(水)

(参加者23名)

一宮市立西成中学校 教諭 石原正也

1. 研修に参加するまで

今回この研修会に参加することになったのは、愛知県教育広報に公募を見た教頭に勧められたからである。そのときは『東栄町か。遠いな。』としか思っていなかった。研修が近づくにつれ、『いったい何人の人が参加するのだろう。どんな人達との研修会なのだろう。』『研修会場はどんなところなのだろう。』『夜の研修会か。寒いのだろうな。』などいろいろ不安が出てきた。研修日当日、授業を終えて同僚の笠原と車に乗り込み

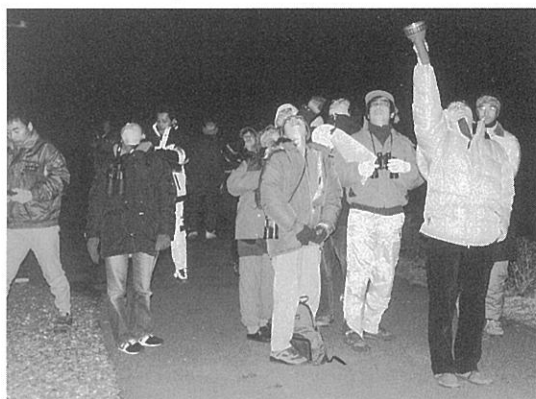
出発した。走れど走れど東栄町に着かず、東栄町に着いても御園はまだ遠い。そんなときスターフォレスト御園という真新しい看板を見つけ安堵した。『看板が新しいから施設も新しいのではないか』と話しながら車を先に進めた。道がだんだん細くなり『本当にこの道でよいのか』と不安やら期待を胸にようやく会場に着くことができた。

2. 研修について

①【冬の星座の観察と指導法】

講師：浅田英夫先生

星座やその観察法を熱っぽく語る浅田先生の目と表情が一番印象に残っている。教壇に立って生徒に話をしているとき、自分はどんな表情をしているのだろうか。こんなに生き生きと話をしているのだろうか。と反省しきりであった。いよいよ実技研修、全国で4番目に星がよく見える場所での星の観察は圧巻であった。一宮の数倍の数の星が見える。理科の教員であるので、星の知識がまったくないわけではないが、冬のダイヤモンドを簡単に見つけることができたことに感動した。また、600mm反射望遠鏡を使って観察した土星、輪と2つの衛星(イオ?エウロパ?ガニメデ?カリスト?)たち、これが地動説のもとになったガリレオが見たものかなと歴史的なロマンを感じていた。



②【野鳥の観察と指導法】

講師：藤岡エリ子先生

野鳥やその観察法を本当に楽しそうに語る藤岡先生の優しい表情が一番印象に残っている。

中学校の理科の授業で生物の分類は取り扱うが、鳥類の分類は教えない。鳥類に関してはカラス・スズメぐらいしか知らなかった私であるが、ホオジロ・セグロセキレイなどを実際に見ることができ、その何ともかわいらしい表情やしぐさに感動した。また、なわばりを守るために一見残忍とも見える野生の行動を観察することができたことも新鮮な驚きであった。

③【冬の昆虫の観察と指導法】

講師：長谷川道明先生

今まで研修会のまとめ役をやってみえた長谷川先生の表情が、この研修になったとき変わった。昆虫のことを語る長谷川先生の何とも誇らしげな、それでいて優しい表情が一番印象に残っている。越冬する昆虫について知識がなかったわけではないが、実際に自分の目で見ることは初めてであった。時間が短かったことが残念であったが、実に内容の濃い研修であった。一度生徒を連れて冬の昆虫の観察を実施してみたいと思った。

④【その他】

いずれの研修も自然の中の生物・自然との共存というテーマを身を持って体験できるものであり、2002年度から実施される新指導要領の総合学習に役立てることのできるすばらしい内容であった。今まで多くの研修会に参加してきたが、これほど実用的な研修内容のものはなかった。

今回の研修会への参加者のうち公立中学校の教員は私たち2名だけで、教育界という狭い世界に身を置いている私にとって、さまざまな分野の専門家の方たちの話を聞くことができた情報交換会も自分自身を磨くことのできる立派な研修の1つとなった。

3. 研修を終えて

今回の研修で私が体験したことを、ぜひ生徒にも体験させてやりたい。自然というものを身近に感じさせ生徒の自由な発想で考えさせてやりたいと思った。

来年度も博物館協会の研修会が実施させると聞いたので、再度参加してみたいと思っている。

③ 美術部門 参加レポート

豊川地域文化広場桜ヶ丘ミュージアム

石川かおり

おぼつかない春の足取りを感じた平成11年3月17日、愛知県芸術文化センターにて愛知県博物館協会美術部門の研修会が開かれました。今回は「美術品の保存」をテーマとした研修内容で、今後の美術館の保存活動を考える上で、大いに参考になるものでした。

まず午前中は愛知県美術館学芸員の長屋菜津子さんによる、ファシリティー・レポートについての講義が行われました。ファシリティー・レポートとは聞きなれない方も多いと思いますが、説明しますとA館が展覧会を開くためにB館に作品の借用を申し出た際、A館の施設概要をB館の指定する様式により記入する書類のことを指し、今のところ適切な日本語の訳はないそうです。A館がどのような状況の元でどれだけ適切に作品を保存、展示できるのかをB館が把握するために、こうした手続きをふむ訳です。欧米ではごく一般的なもので、日本ではまだ実施している館はそれほど多くはないそうですが、今までの館と館同志の口コミの情報に片やらず、正確に合理的に展示活動を進めていくのかかせないものとなってくるでしょう。これから必要性が増すものと、関心を持って拝聴しました。

午後からは主に文化財の保存についての姿勢や心がまえといったものを考えさせられる講義が続きました。まず東京国立文化財研究所の修復技術部長である増田勝彦氏が、そして次に名古屋城天守閣学芸員の奥出堅治氏が、それぞれ自分の体験に基づいて保存の意義や目的を熱く語っていただきました。最後に名古屋城に足を運び障壁画の模写を見学して、肌で現場の空気を確かめることができました。

研修全体を通して保存について言えることは、後世に価値のある作品や作者、その時代への畏敬の念を持って作業に取り組まなくてはならないということです。今回の研修を生かして、何よりも心して責任を果たしたいと思います。

(参加者80名)

新規加盟館の紹介

あいち健康の森

健康科学総合センター 健康科学館

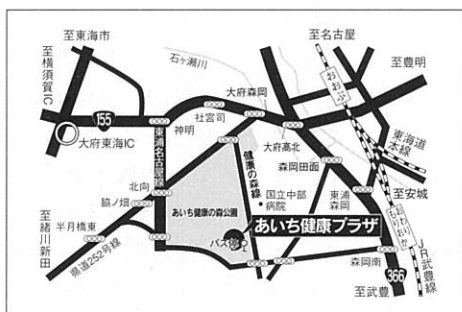
(Aichi Comprehensive Health Science Center Health Science Museum)

沿革・概要

平成10年6月14日開館。あいち健康プラザは愛知県が設置し「あいち健康の森」のメイン施設である。健康づくりの総合拠点であり「健康科学館」、「健康開発館」、「健康宿泊館」、「健康情報館」からなる複合施設。健康科学館は常設展示事業や教育普及事業を通して、健康づくりの動機付けを行っている。「からだの科学」、「健康の科学」、「脳の科学」の3室、および映像ホールなどからなり、延床面積は8,058㎡。

収藏品・展示内容

健康科学館は、からだのしくみや健康の大切さを、からだの拡大模型や体験型の展示、パソコンゲームなどを通して、楽しみながら見て、触わって、理解することができる。からだの科学（展示室Ⅰ）にある「骨、筋肉、関節のはたらき」のコーナーでは、ゆかいに動くロボット（マッスル博士）が、モニター映像と掛け合いをしながら筋肉の収縮や骨の成長、骨粗鬆症について解説する。



開館時間： 9時30分から17時00分（入館は16時30分まで）

休館日： 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日以降で最初の平日）・年末年始

入館料： 大人 500円（400円）
小・中学生 200円（160円）

（ ）内は20名以上の団体料金

所在地： 〒470-2101

愛知県知多郡東浦町大字森岡
字源吾山1-1

電話： (0562) 82-0211

交通： 名古屋駅からJRで13分、
JR大府駅からバス10分
名古屋の中心から自動車で約30分

大口町歴史民俗資料館

概要

大口町歴史民俗資料館は、健康文化センター「ほほえみプラザ」の3階にあり、常設体感展示室・企画展示室・事務室の3つに分かれています。



常設体感展示室は、約400㎡ほどあり、前半を体感ゾーンとして農家・舟・小企画を行う広場によって構成されており、後半を歴史ゾーンとして時代ごとに大口町の歴史を紹介しています。

企画展示室は、約150㎡ほどあり、年3回から4回の企画展示を行います。

事務室の中には、約30㎡ほどの特別収蔵庫があり恒温恒湿を保つことができます。

なお、健康文化センターの建物に対面するように大口町文化財収蔵庫が建っており、約400㎡ほどの床面積に農具・民具が収められています。

開館時間： 午前9時～午後5時

休館日： 毎週月曜日・火曜日、年末年始
火曜日が祝日の場合の翌日

入場料： 無料

住所： 〒480-0126

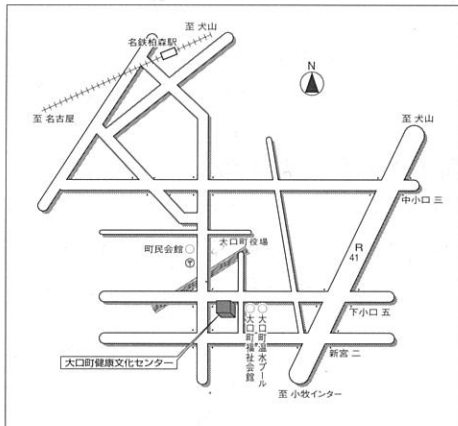
愛知県丹羽郡大口町伝右一丁目35番地

電話：(0587) 94-0055

F A X : (0587) 94-0056

交通：・国道41号線下小口五交差点を西へ1 km

・名鉄柏森駅から南へ3 km(徒歩40分)



大一美術館

概 要

「特色ある美術館」をめざし、ガラス美術館として1997年5月に開館。

展示内容は、19世紀末フランスで活躍したエミール・ガレの万国博覧会出品作を含むアール・ヌーヴォーの作品と、現代ガラスアートの第一人者で、アメリカの人間国宝第一号に認定されたデイル・チフリーのパワフルな作品を常設展示。この近代と現代の両巨匠の作品を通じて、それぞれの文化を味わうことが出来る。また、この他に企画展や各国の新鋭アーティストの作品の発表、展示も行っている。



美術館横のギャラリーは、創作発表の場として一般に貸し出している。

開館時間： 午前10時～午後 5 時

(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）

年末年始 30日～1日まで

入館料：大人 800円 高・大生 600円

小・中生 400円

(団体20名以上)

大人 600円 高・大生 400円

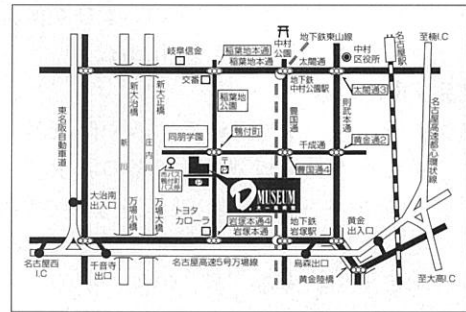
小・中生 300円

所在地：〒453-0843

名古屋市市中村区鴨付町 1-22

T E L : (052) 413-6777

F A X : (052) 413-3838



交 通： 栄より市バス栄24、地下鉄「中村公園駅」より市バス中村13で、「稲西車庫」行き、「鴨付町」下車南へ徒歩1分。

名古屋Ⅰ.C方面より東名阪自動車道「大治南」出口、亀山方面より東名阪自動車道「名古屋西Ⅰ.C」出口より下車、岩塚本通を東へ、岩塚本通4の交差点を左折1分。

駐 車 場：大型車2台、普通車30台（無料）

「愛知の博物館」 No.69

発行日 平成11年4月

編集・発行 愛知県博物館協会

〒489-0965 愛知県瀬戸市南山口町234番地
愛知県陶磁資料館内

TEL (0561) 84-7474
FAX (0561) 84-4932